

# 世界のお茶



## <アジア編>

### ネパール インド

コップ一杯のミルクティーが25パイサ（5円） 生のミルクだから油の花が浮く。コーヒーを頼むと、インスタントのネスカフェがオゴソカに出てくる。ミルクティーより高い。

### パキスタン

基本的にはミルクティーだが、グリーンティーというのがあって、ミルクたっぷり。でも、何と塩味。

### アフガニスタン

ブラックとグリーン、砂糖付となし、ミルク付となしの各組み合わせがある。ブラックは2～5アフガニー（14～35円）でミルク付は10もする。いやという程飲める。4杯分以上入っている。砂糖は小皿に入れてくる。変わったところでは、砂糖菓子やキャンディーと一緒に食べる（砂糖の変わりに）。ミルクが大変高価である。コーヒーはやはりネスカフェ。

### イラン

ブラックティー一杯を皿の上にのせてくる。砂糖は板状をブツカイタもの。だから、茶の中に入れても溶けてくれない。皿に移して飲むのが本当。1杯2.5～5リアル（10～20円）。コーヒーはやはりネスカフェ。

### トルコ

首元がくびれた独特な形のコップでもってくる。砂糖はイランと同じ。トルココーヒーは小さなカップでもってくるが、とても渋く、それがまた美味しい。粉状の豆で売っているから、インスタント風によく飲んだ。

### ギリシャ

ギリシャまでくるとティーが消えうせる。彼等はティーよりコーヒーを飲む。コーヒーはトルココーヒーと同じだが、名前がギリシャコーヒーに変化する。喫茶店がチャイハナならぬ高級露店で飲むことができる。しかし、150円以上もするのでつつい飲む機会を失った。

## <アフリカ編>

### エジプト

世界一物価が安いといわれるエジプトのティーは、一杯が3P.T～5（13円～21円）で、それも大きなカップで、砂糖が大量に入っている。コーヒーはトルココーヒー。他にカカオがある。

### リビア

ティーポットに変化はないが、メチャクチャに強いティー。 作り方：小さなやかんに湯をつくり、そこへ紅茶の葉を入れ、砂糖を大量に入れる。沸騰して溢れる時に火から遠ざけ、冷めるとまた火にかけて5、6度それを繰り返す。ストロングが特徴。水のないところ、そして塩の含んだ水のせいでもある。

### チュニス

カフェオレ又はハッカ茶



パキスタン・ラワルピンディの茶屋

## アルジェリア

カフェオレうまい。又はハッカ茶

## ニジェール

カフェオレ。テーブル一つ、椅子一つの屋台で、ハウロウの大きなカップ半分というガブ飲みタイプ。うまくはないが25フラン（30円）と安い。パンもついている。

## ナイジェリア

ミルクコーヒー。猛烈に量が多い。小ジョッキー又はハウロウのカップ。屋台と茶店なし（英国植民地だったから）

## ダホメー

ティーの様子は不明だがソフトドリンクバーが多い。

## トーゴ

ティーの様子は不明だがソフトドリンクバーが多い。ここには世界一うまいBENINN BEERがある。

## ガーナ

ティーの様子は不明。ディスコでビール飲んで踊っている。茶店はない。

## <欧州編>

### イタリア

エスプレッソコーヒー。ほんのちょっとで150-200リラもするから二度と飲めない。コーラは500リラ

### イギリス

コーヒーはとてつもなくまずい。やはりティーがうまい。

### フランス

コーヒーExpressが安い。1.2フランで、席につくと2.2フラン。カフェでは4~7近くにもなる。店によって大幅に値段が違う。カフェオレなど美味しい。ティーはポットに紅茶が入ってきて、カップとシュガーの他にお湯だけがかかる。薄めるのだろうか。砂糖は包の中に小さいのが3つ入ってくる。

### ポルトガル

コーヒーが主。例のExpress。カフェオレはコップ一杯。Expressとブランデー又はウゾーと一緒に飲む。

### スイス

オバルティン（栄養価の高いココア）が登場する。コーヒーが多い。

### ドイツ

ティーよりビール。コーヒーがうまい。多種の豆を売っている。

### デンマーク スウェーデン ノルウェー

コーヒーが多く、変わっているのはセルフなど自分で勝手につくる。オランダ

### ベルギー

コーヒー、チョコレート。

### ユーゴスラビア

トルココーヒー。コーラ150円と高い！

### ブルガリア

トルココーヒー。ティーはない。

## <北米編>

### カナダ

うすいアメリカンコーヒー。お替り自由もある。とてもうまい。久しぶりにうまい。30~35セント。

